

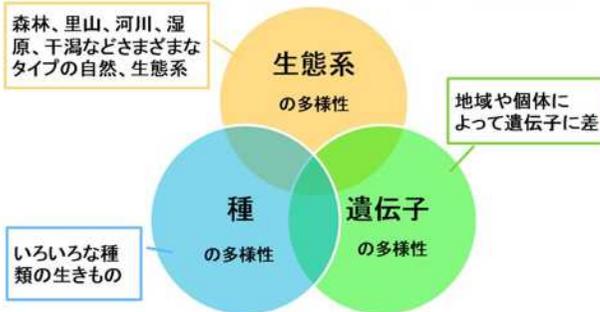


おおいたの重要な自然共生地域

未来へつなごう！多様な生きものをはぐくむ場

生物多様性とは ~3つの多様性~

地域に固有の自然があり、それぞれに特有の生きものがあること
そしてそれぞれが繋がっていること



生物多様性の危機



生物の多様性は、自然の恵みを人間に与え、その営みを支えています。
しかし、人間の活動により、地球規模で生物の多様性が減少し、自然の恵みは失われつつあります。

将来も自然の恵みを享受するためには、生物多様性の保全と利用の調和を図りながら、自然と人間が共存できる持続可能な社会の実現が必要です。

県では、専門家・大学教授等の有識者7名を構成員とした検討委員会を設置し、身近な自然で生物多様性が保たれている又は希少野生動植物が生息・生育している地域のうち、法的規制などが無いまたは弱い地域を中心に選定し、生物情報などが整理できた地域を公表しています。

今回、2地域を新たに追加し、合計30地域となりました。今後も順次公表していく予定です。

ホームページアドレス <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13070/oitanojuyouunashizenkyouseichiiki.html>

公表の目的について

公表は、豊かな自然環境を未来につなぐため、公表地域の生物情報や保全活動などについて県民のみなさんへの周知を図り、生物多様性への理解促進や保全活動への支援・協力等呼びかけることを目的として行います。

将来に自然の恵みをもたらす生物多様性豊かな自然環境をつないでいくため、みなさんの御協力をお願いします。

制約等について

社会的・経済的条件などにより、各地域で取組まれている活用や保全のあり方に違いがあることから、選定・公表によって人々の暮らし、農林業の営みや土地の利活用等で新たな制約や規制等が生じることはありません。

また、その公表場所の管理者等に、その管理を継続することを義務付けるものでもありません。

注)「おおいたの重要な自然共生地域」の立ち入り等にあたっては、事前に土地所有者や管理者の承諾を得ることが必要な場合があります。